7/7 道通

建設業への理解深めて

平田建設 高校の職業体験に協力

士幌高の奥さん（左から２人目）が建設業について学んだ

【帯広発】㈱平田建設（士幌、長谷川雅毅社長）は6月25日から3日間、士幌高校のインターンシップに協力した。建築や道路改良、土質試験などの見学を実施。参加した生徒は測量実習やドローンによる工事写真の撮影などを通して、建設業への理解を深めた。

同社では毎年インターンシップに協力。今回は25日から3日間、士幌高2年生の奥祐大郎さんを受け入れた。

初日は建設業の役割や同社について説明したあと、建築の現場や同社帯広支店の土質試験室を見学。2日目は帯広開建発注で同社施工の「帯広広尾自動車道大樹町歴舟北改良工事」「帯広広尾自動車道大樹町振別北改良工事」を、3日目は帯広開建発注で同社施工の「北海道横断自動車道陸別町分線改良工事」「北海道横断自動車道陸別町日宗南改良工事」の各現場を見て回った。

2、3日目のそれぞれの現場では、測量実習やドローンによる工事写真の撮影を実施した。また、タブレット端末でリアルと3Dモデルを融合するアプリケーションを活用。現場の完成イメージを見ながらどのように工事を進めるかについて説明した。

奥さんは、3日間のインターンシップについて「現場で使用している最新の機械に感動した。建設業に進みたい気持ちがとても強くなった」と話した。